

## コンクリートひび割れ補修用 浸透性エポキシ接着剤

# アルファテック380 (S/W)

アルファテック380は、コンクリートのひび割れ補修用に開発された浸透性のエポキシ接着剤です。ひび割れの表面から塗布することで、毛細管現象によって内部に浸透し、コンクリートと接着して一体化します。



JWWA K 143(水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗料塗装方法)適合品  
 JWWA Z 108(水道用資機材の浸出試験方法)適合品

アルファテック380S : JAIA-014517 F☆☆☆☆  
 アルファテック380W : JAIA-014518 F☆☆☆☆

### 特長

- ひび割れ表面から、ハケやローラーで塗布することで浸透し、接着できます。
- 下方方向に限らず、上方方向、横方向でも、毛細管現象によって浸透し、接着できます。
- 圧縮、曲げ、引張に対して、高い強度と耐久性を発揮します。
- 乾燥面はもとより、濡れたコンクリートにも、高い接着性能を発揮します。
- 低粘度で可使用時間が長く、注入、塗布、充填などの施工に最適です。
- 無溶剤なので、揮発物の成分を含んでいません。

### 用途

- 上方方向や横方向の面に生じた、マイクロクラックから0.5mm程度のひび割れに浸透して接着補修。
- 下方方向の面に生じた、マイクロクラックから1mm程度のひび割れに浸透して接着補修。

### 使用方法

- ①マーキング：ひび割れの幅と長さを確認しマーキングして下さい。
- ②下地処理：ダスター刷毛やエアスプレーなどでひび割れを清掃して下さい。  
 ◇降雨時及びひび割れ内に滞留水がある時は施工ができません。
- ③汚れ防止：マスキングテープやシートなどでコンクリートの汚れ防止をして下さい。
- ④樹脂混合：主剤(淡黄色)と硬化剤(青色)を容量比2:1で必要量取り分け、均一になるまで充分に混合して下さい。  
 ◇過度攪拌による気泡混入に注意して下さい。  
 ◇一度に混合する量は可使用時間内に使い切れる量として下さい。
- ⑤塗布浸透：ひび割れ表面からハケやローラーで樹脂を塗布して、ひび割れへの吸い込みを待つて、樹脂寄せと再塗布を行い、  
塗布⇒含浸⇒ひび割れが浮き出る⇒塗布を繰り返して下さい。  
 ◇使用量はmあたり20～50gが目安となります。面で塗布する場合はmあたり200～250gが目安となります。
- ⑥仕上処理：可使用時間を経過しゲル化した樹脂でひび割れの凹みを埋め、余分な樹脂を取り除いて下さい。  
 初期硬化後コンクリート表面の硬化樹脂をサンディング除去またはコンクリート保護塗装材・アルファコートU上塗などで塗装して下さい。

【施工時の温度目安：S(夏用)15℃以上、W(冬用)5℃～20℃】

### テクニカルデータ

未硬化物の性状(23℃)	アルファテック380S(夏用)		アルファテック380W(冬用)	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
外観	淡黄色	青色	淡黄色	青色
外観(混合)	淡青色		淡青色	
混合比(重量)	100	43	100	43
混合比(容量)	2	1	2	1
粘度	400±100mPa·s		350±50mPa·s	
比重	1.11±0.05		1.11±0.05	
可使用時間(300gスケール)	55分		30分	

テクニカルデータ

1. JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)品質規格に基づく試験

NEXCO 構造物施工管理要領表3-2-1 ひびわれ注入工法用エポキシ樹脂系ひびわれ注入材の品質規格1種に基づく試験  
国土交通省土木補修用エポキシ樹脂注入材1種適合品

(註)MF:セメントモルタル破壊

試験項目		品名	アルファテック380S	アルファテック380W	JIS規格値	NEXCO・国交省規格値
試験条件		試験結果		試験結果		
粘性	粘度 (mPa・s)	23±0.5°C	350	319	100~1000	1000 以下
接着強さ (MPa)	特殊条件	標準条件	8.8 MF	7.8 MF	6.0 以上	6 以上
		低温時	-	6.7 MF	3.0 以上	-
		湿潤時	8.3 MF	6.3 MF	3.0 以上	3 以上
		乾湿繰り返し時	8.0 MF	6.6 MF	3.0 以上	-
硬化収縮率 (%)	標準条件 (7日間)	1.4	1.6	3.0 以下	3.0 以下	
加熱変化	質量変化率 (%)	110°C×7日間	3.4	3.8	5 以下	-
	体積変化率 (%)	110°C×7日間	3.3	3.2	5 以下	-
引張強さ (MPa)	標準条件 (28日間)※	26.5	35.2	15.0 以上	-	
引張破壊伸び (%)	標準条件 (28日間)※	9.2	3.5	10.0 以下	-	
未硬化の注入材	可使時間 (分)	70	33	-	30以上	
硬化した注入材	接着力耐久性保持率 (%)	76	80	-	60以上	

※アルファテック380は、0.5mm程度までのひび割れ部分に塗布のみで浸透し、かつ湿潤面への接着も可能とする接着剤です。

このアルファテック380をひび割れ部分により多く含浸させるため、初期硬化を抑え、浸透時間を長く保持できるように配合しております。  
この特性により、28日の硬化養生時まで最大強度が上昇します。

2. NEXCO 構造物施工管理要領表3-5-2 プライマーひびわれ含浸性能適合品

(註)CF:コンクリート破壊

試験項目	単位	試験方法	養生条件	アルファテック380S	アルファテック380W	規格値
ひび割れ接着強度	N/mm <sup>2</sup>	試験法-426	23°C×7日	2.9 CF	3.0 CF	2.0N/mm <sup>2</sup>

3. NEXCO 構造物施工管理要領(平成18年10月版)表3-11-5 付着力に関する品質規格適合品

(註)CF:コンクリート破壊

試験項目	単位	試験方法	養生条件	アルファテック380S	アルファテック380W	規格値
付着強度	N/mm <sup>2</sup>	試験法-412	23°C×7日	2.0 CF	2.0 CF	1.5N/mm <sup>2</sup>

4. 硬化樹脂の性状

(註)COF:接着剤破壊

試験項目	単位	試験方法	養生条件	アルファテック380S	アルファテック380W
圧縮強さ	N/mm <sup>2</sup>	JIS A 6024	23°C×7日	15	60
			23°C×14日	25	-
			23°C×28日	30	-
曲げ強さ	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 7171	23°C×7日	5	15
			23°C×14日	20	40
			23°C×28日	25	-
引張強さ	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 7161	23°C×7日	8	30
			23°C×14日	15	-
			23°C×28日	23	-
引張せん断接着強さ (鋼材相互)	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 6850	23°C×7日	15 COF	15 COF

※上記結果は、当社の試験、研究で得られた試験値です。

容器形態

【10kg / 9L セット】

主 剤 7kg (角缶)  
硬化剤 3kg (角缶)

【1kg / 0.9L セット】

主 剤 0.7kg (アルミパック)  
硬化剤 0.3kg (アルミパック)

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願いします。

注意事項

- ・直接皮膚に接触するとかぶれを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
- ・取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行ってください。
- ・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹼水等でよく洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ・使用にあたってはSDSをお読みください。

**アルファ工業株式会社**  
**ALPHA KOGYO K.K.**

横浜 本社 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-51 TEL:045-500-0500 FAX:045-500-0550  
URL:https://alpha-kogyo.com / E-mail:alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp  
1-1-51 SUEHIRO-CHO, TSURUMI-KU, YOKOHAMA-SHI, 230-0045 JAPAN  
神戸事業所 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通6-3-3 TEL:078-681-7051 FAX:078-671-2282  
6-3-3 ASHIHARADORI, HYOGO-KU, KOBE-SHI, 652-0882 JAPAN